

三重県共有デジタル地図共同整備事業と 中部圏における広域連携に向けて

第3回GIS上級技術者会議

平成21年9月29日

竹本孝・国際航業(株)

内 容

1 . 三重県共有デジタル地図共同整備事業について

発注者: 三重県及び市町

総括管理技術者 (7 社JV企業)

2 . 中部圏における広域連携について

発注者: 国土交通省国土地理院

管理技術者 (測技協)

3 . GIS上級技術者について (思うところ)

4 . ご意見

1. 三重県共有デジタル地図共同整備事業について

■ 三重県のGISに関する動き

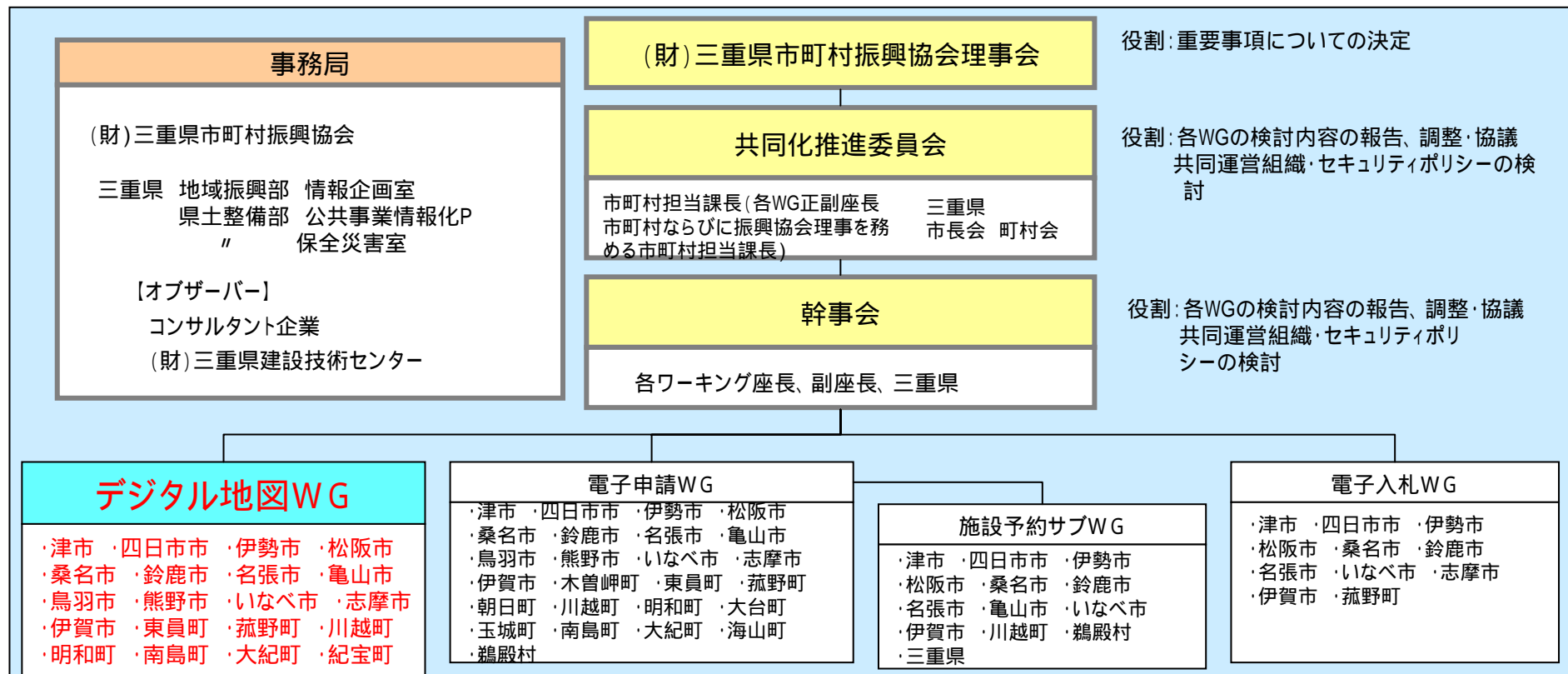
年 度	三重県の動き
1999	三重大学との共同研究
2000	三重大学との共同研究(2年次)
2001	三重県GISマスタープラン策定
2002	・ 県域を網羅するデジタル地図(1/5,000) を整備 ・イントラネットGIS及びインターネットGISを運用を開始
2003	・簡易GIS「M - GIS」のインターネット 無償提供 開始 ・GIS協議会(民間企業の任意団体)と連携した実証実験開催
2004	・ 市町で利用できるLGWAN-GIS 整備 ・インターネットGISの年間アクセス100万件突破
2005	・ 県と市町のデジタル地図共同化事業 検討 ・「M - GIS」のユーザ登録者10,000名突破
2006	・ 県と市町のデジタル共同整備 着手 (地理空間情報活用推進基本法の基準等に基づく整備を検討)

**県域デジタル
地図の品質低下
合併による地図
整備の必要性**

1. 三重県共有デジタル地図共同整備事業について

共同化の検討経緯

IT 共同開発・利用活用のための共同化推進委員会を市町村振興協会を中心に設置。
地図整備についてもWGが設置され、地図の共同整備化について検討。

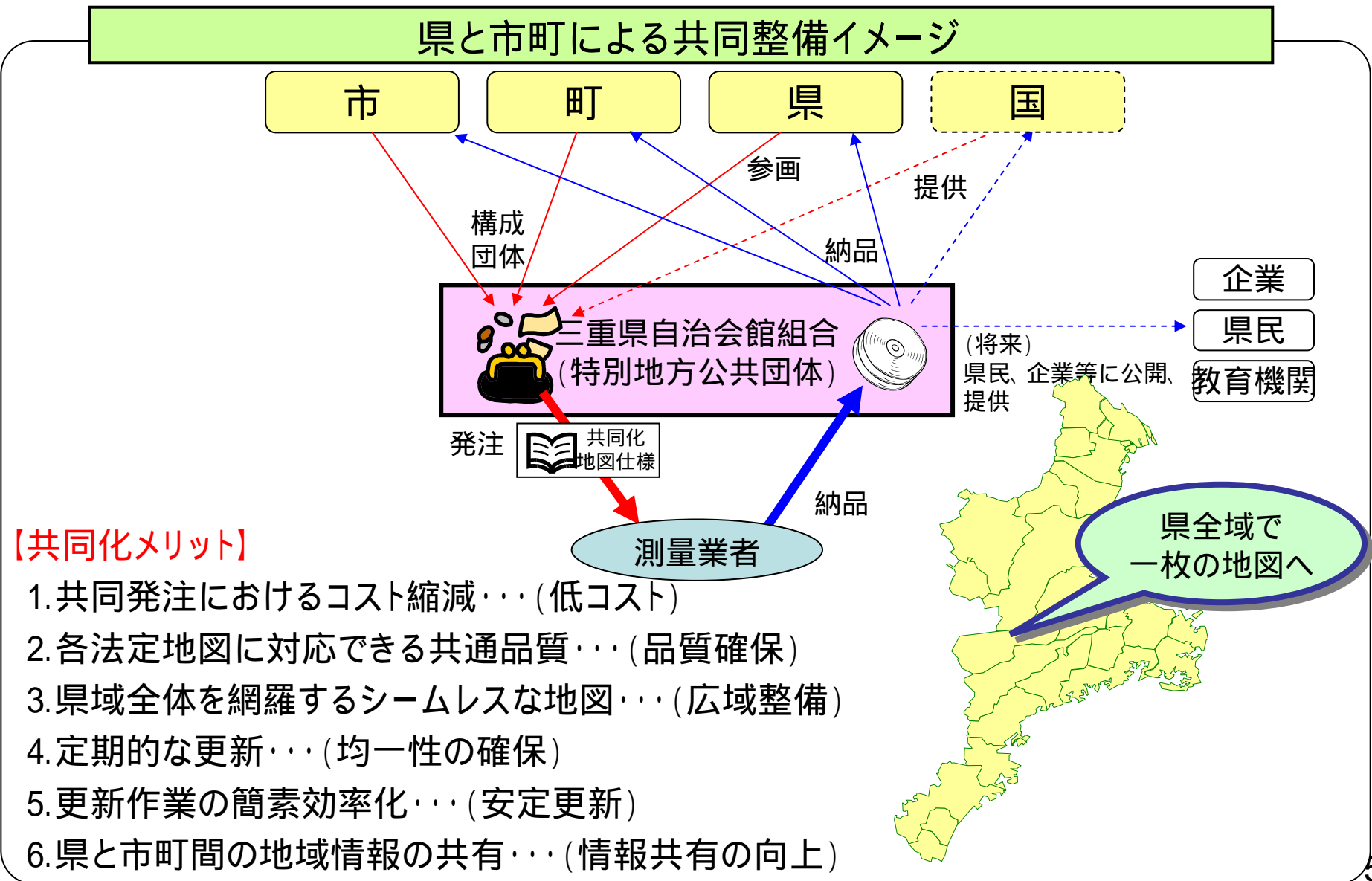


連携

三重県電子自治体推進連絡協議会 (県、全市町で構成)

1. 三重県共有デジタル地図共同整備事業について

■ 共同化のスキーム



1. 三重県共有デジタル地図共同整備事業について

以下の内容が県市町間で合意され、共同整備が実施された。

【基本合意内容】

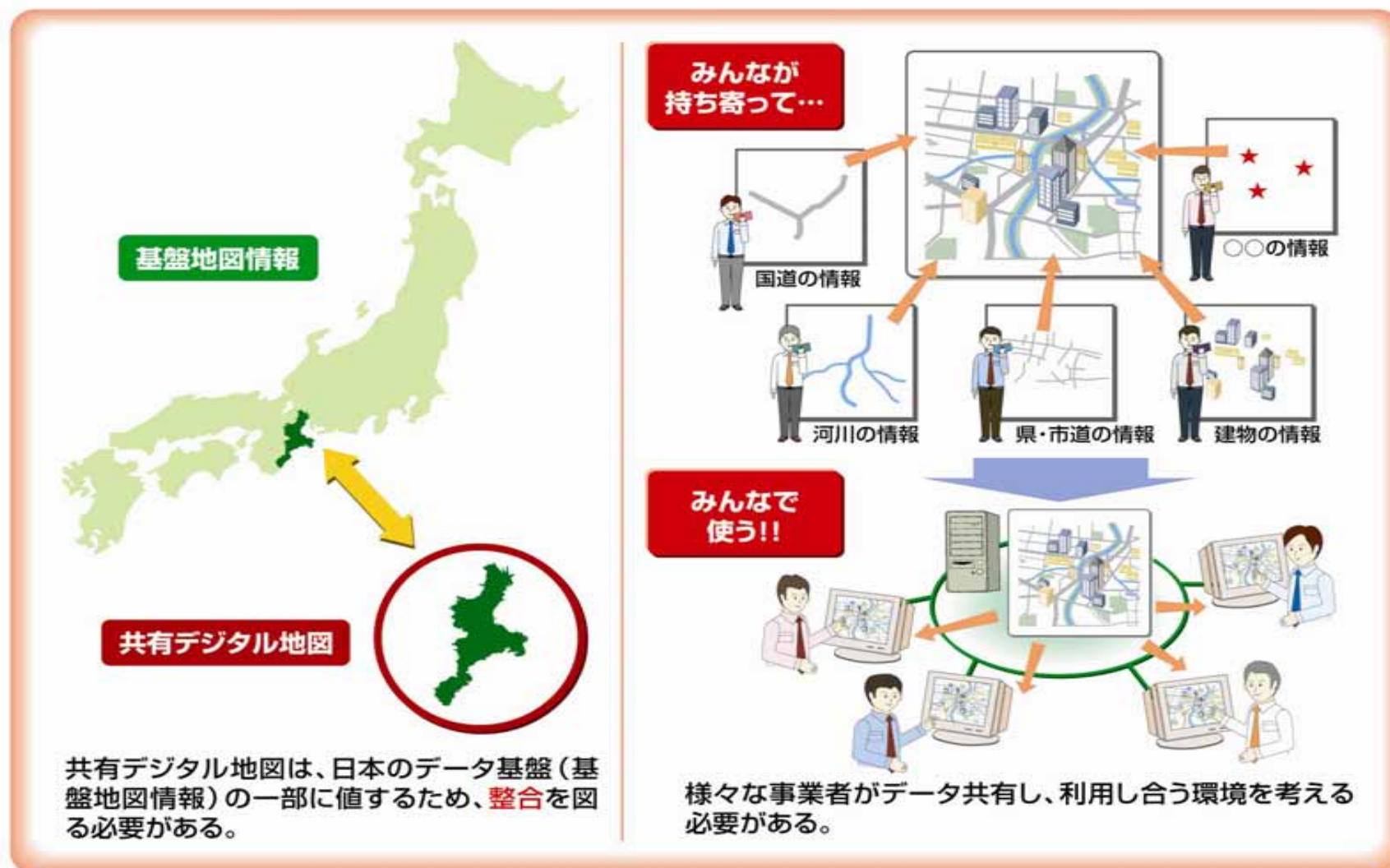
- ・三重県と市町の負担割合は1:2

(三重県:最大5億円 市町(振興協会):最大10億円)

- 地図精度は1/1,000の道路縁、1/2,500の地形図を基本とした縮尺混合地図として整備する。
- 平成18年度から航空写真の整備に着手し、3ヵ年でデジタル地図を作成する。
- 整備した地図の更新は、概ね6年サイクルで更新する。
- 責任の明確化や事業継続性の観点から実施主体は一部事務組合とする。

1. 三重県共有デジタル地図共同整備事業について

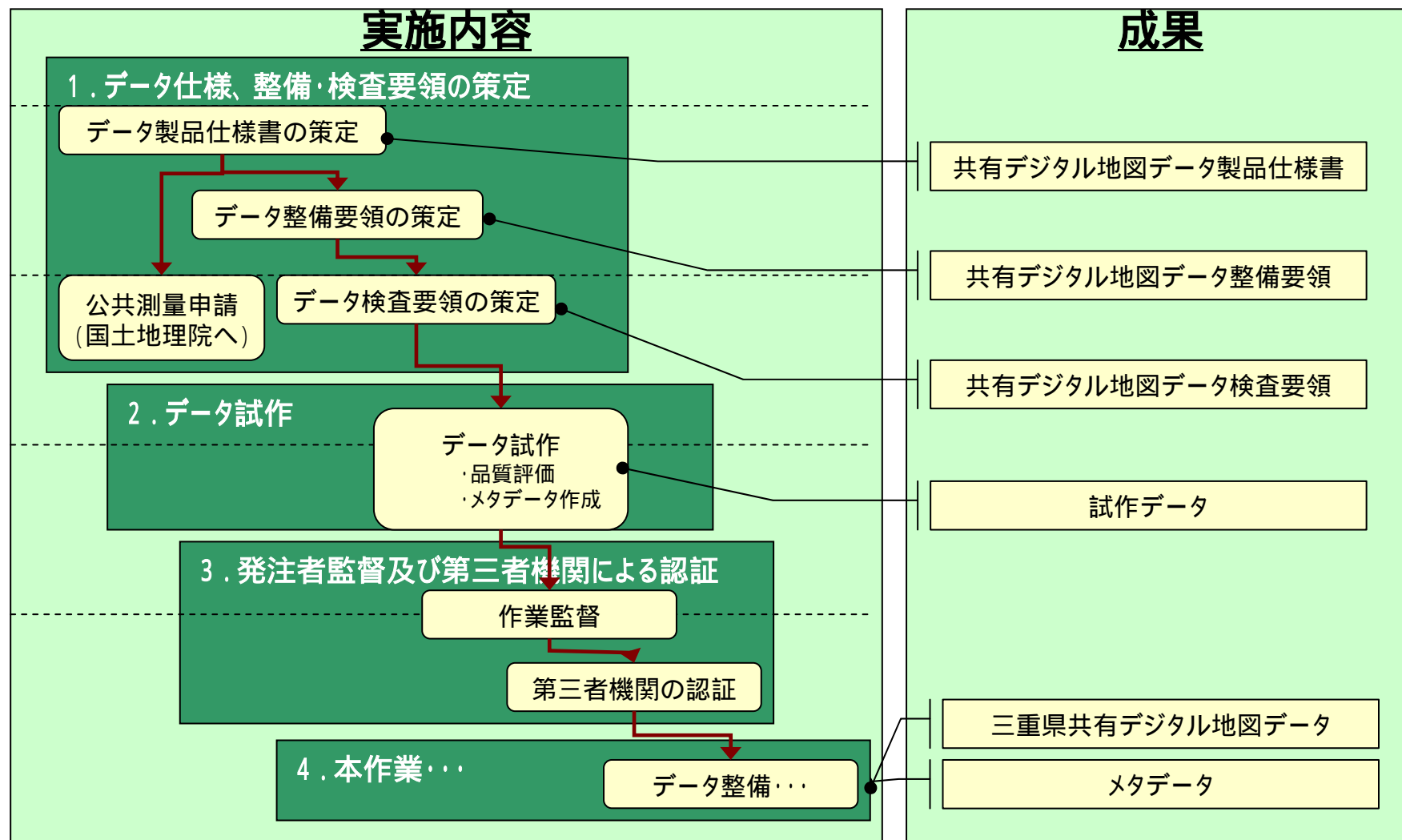
- 共有デジタル地図は、“**基盤地図情報** (地理空間情報活用推進基本法)”や“**共用空間データ** (統合型GIS)”と同質のもの。



1. 三重県共有デジタル地図共同整備事業について

■ 要求事項に適合したデータ整備を行うために・・・

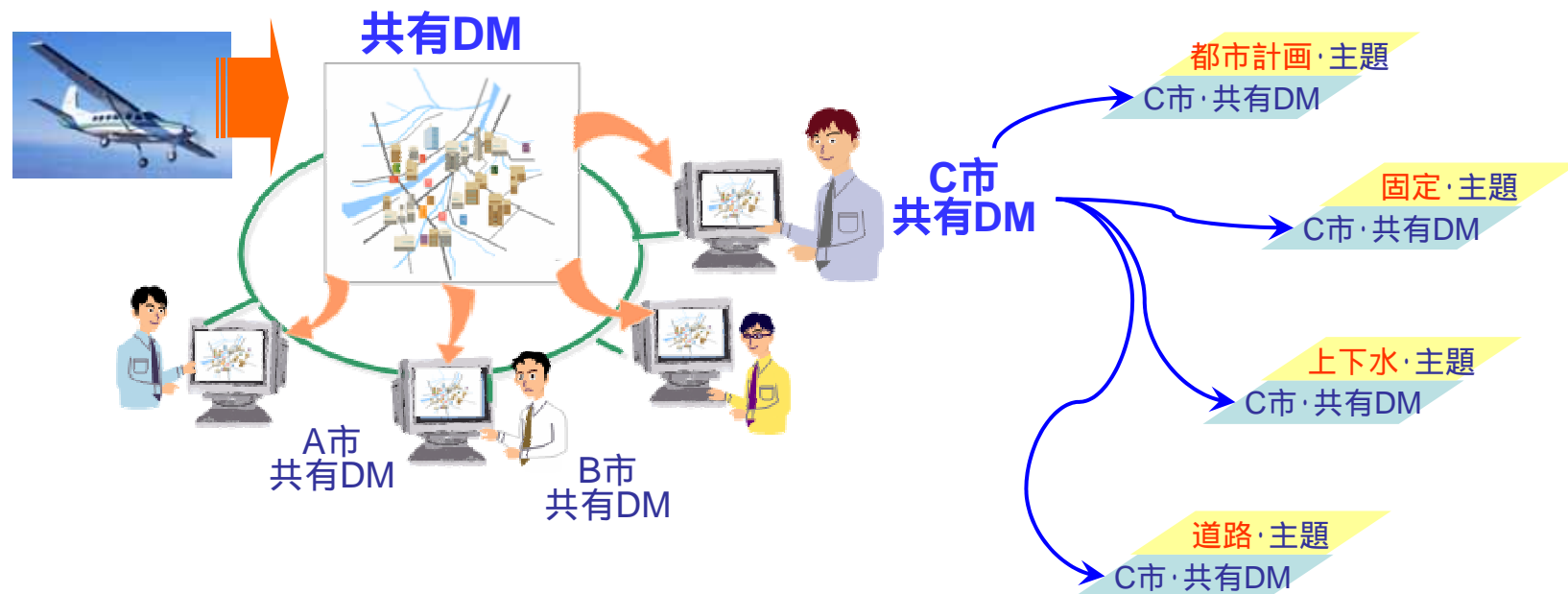
一部の地区において先行作業(プロトタイプ)を実施し、データ仕様や作業要領等の作成、品質評価手順及びその妥当性を確認した上で、本作業を実施する。



1. 三重県共有デジタル地図共同整備事業について

■ 現行のデータ更新の仕組み

- 共有DMを**全体的に更新**して、**ユーザ(現課)**に**提供**する仕組み
 - ➡ 一定の**コストが必要**であり、**リアルタイム性が乏しい**。



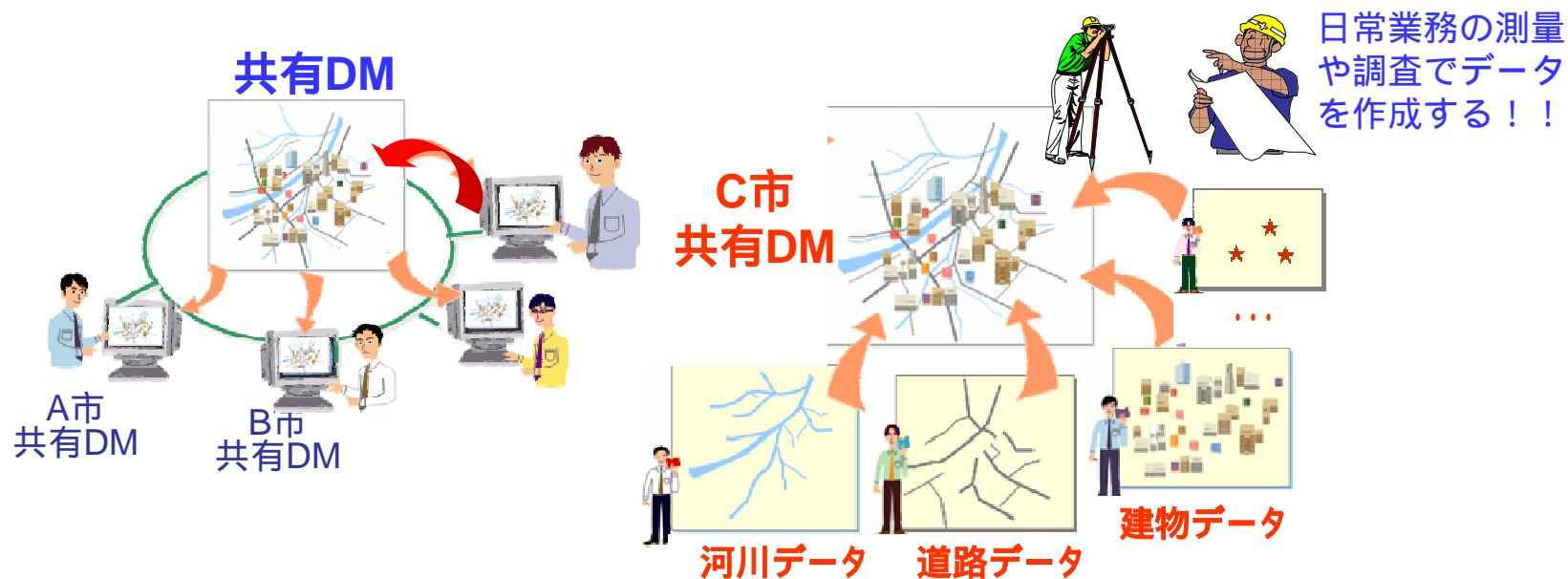
1. 三重県共有デジタル地図共同整備事業について

■ 望ましいデータ更新の仕組み

● ユーザ(現課)の**更新情報を持ち寄って**、共有DMを更新・配信する。

- ➡ 更新情報とは、工事完成図データや固定の家屋データなど、をいう。
- ➡ 共有DMは“**あたかも1枚の地図**”のように見える。
- ➡ 日常の業務を通じた**無理のない**仕組み(**最小限のコスト**)となる。
- ➡ 現課の情報であるため、**情報の正確さやリアルタイム性が高い**。

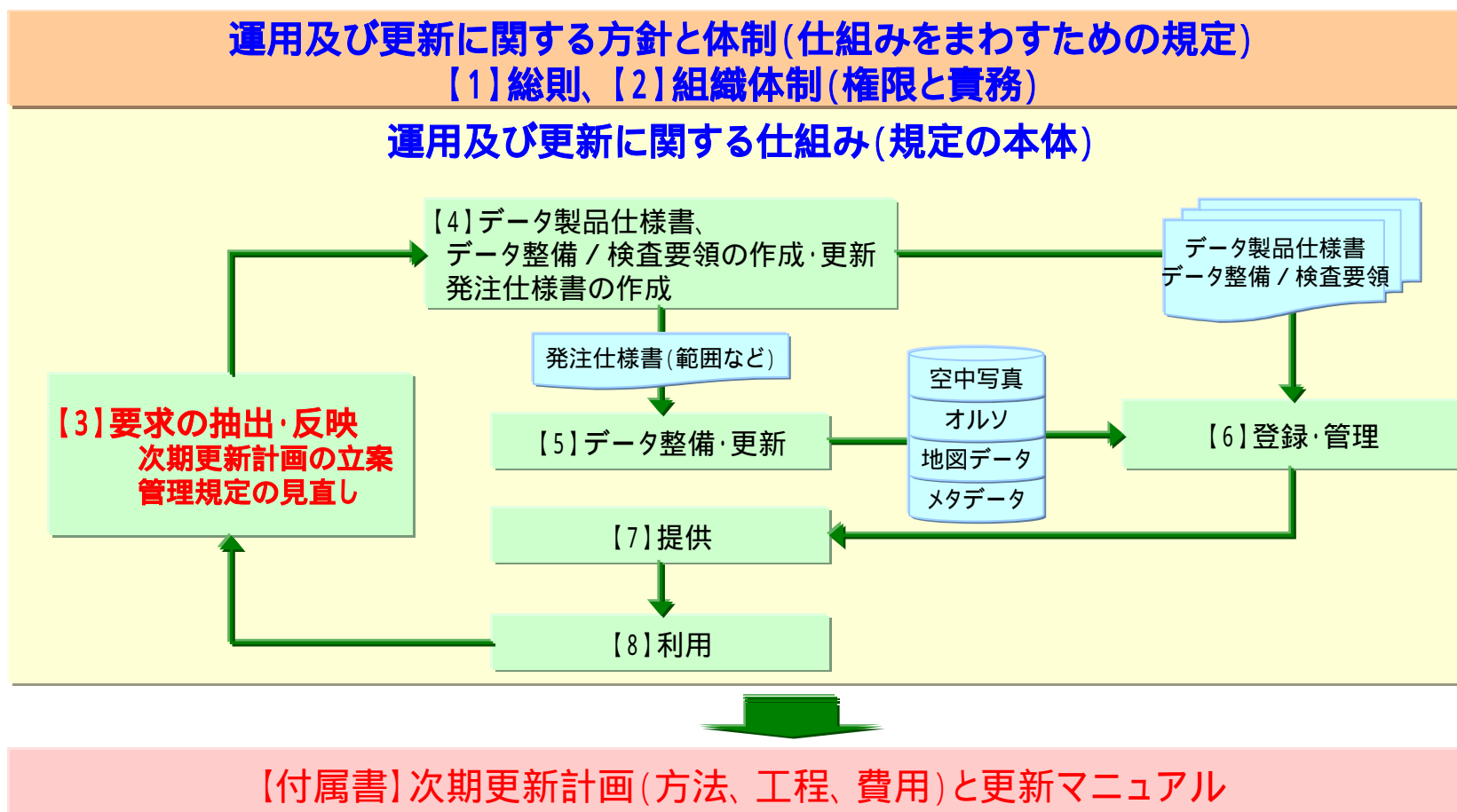
■ 望ましいデータ更新の仕組みを展望しつつ、**段階的な実施方法を立案**する。



1. 三重県共有デジタル地図共同整備事業について

■ 運用・更新管理規定の構成

- データ更新計画は、職務内容や技術の変化など長期的な立案は非効果的と言える。
- 更新時期の要求事項の抽出を行い、更新計画を立案することのみを規定化する
- 時期は、更新作業期間中に、次回の更新計画を立案する。



1. 三重県共有デジタル地図共同整備事業について

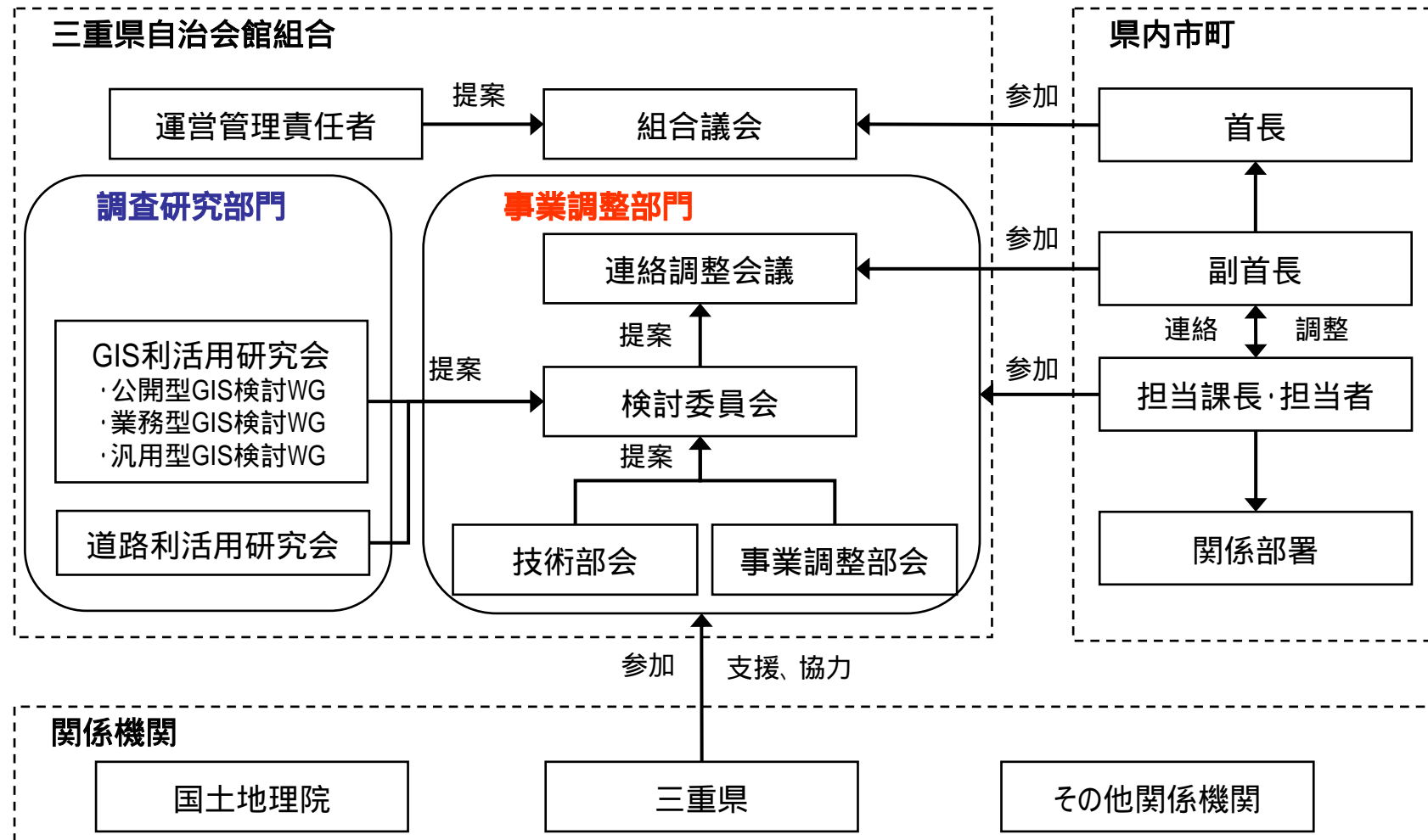
■ 運用及び更新管理規程の構成

- 具体的なデータ更新計画や規定類については、今後の技術動向や社会状況等によって、変更が生じる可能性もあるため、**付属書として添付します。**

運用管理規程の目次		付属書
第1章 総則		
	第1条 目的	
	第2条 適用範囲	
	第3条 用語の定義	
第2章 組織		
	第4条 運営体制	
	第5条 関係者の役割	
	第6条 運営会議の構成等	
第3章 共有デジタル地図の整備・更新		
	第7条 共有デジタル地図成果の構成等	・共有デジタル地図成果製品仕様書
	第8条 共有デジタル地図成果の全体更新	・共有デジタル地図成果の整備要領及び検査要領
	第9条 共有デジタル地図成果の部分更新	・全体更新にかかる事業計画(案)
第4章 共有デジタル地図成果の管理及び利用		
	第10条 共有デジタル地図成果の管理及び利用	・共有デジタル地図成果利用ガイドライン ・共有デジタル地図成果利用ガイドラインFAQ
第5章 その他		
	第11条 共有デジタル地図成果の権利	
	第12条 連絡先	

1. 三重県共有デジタル地図共同整備事業について

■ 組織について



3 . GIS上級技術者について(思うところ)

地理空間情報コンサルティング



3. GIS上級技術者について(思うところ)

GIS上級技術者について

- 高度で専門的な知識と広範な経験が必要。
- 企業側にとっては、顧客要求事項を的確に捉えて、問題解決策を案出し、合意形成を図っていく能力も求められる。
- 資格が評価される仕組みや啓発活動をお願いしたい。

